



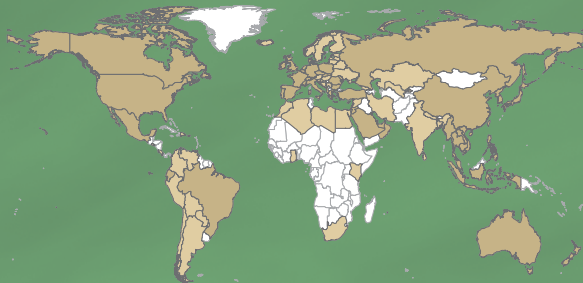
ジョンソンヘルステック CSR報告書

Our People. Our Planet. Our Practices.

ジョンソンヘルステックの 取り組みをご覧ください

Matrix (マトリックス), Horizon (ホライズン), Vision (ビジョン) ブランドの生みの親であるジョンソンヘルステックは世界のフィットネス業界をけん引するリーディングカンパニーのひとつです。1975年に台湾・台北でビジネスをはじめた時から、業界の最大手をめざすだけでなく、従業員、地球環境、仕事への取り組みについて、常に正しいかどうかを自問しながら「あるべき姿」を目指してきました。

ジョンソンヘルステックは、世界中に30の支社と約5,300人の従業員を抱えています。わたしたちは、多様性のある世界に向けて、より良いフィットネスとウェルネス体験をお届けすることが使命であると考えています。同報告書では、工場やグローバルオフィスにおける我々の責任の一部をご覧いただけます。



【世界に広がる販売網】

世界中に広がる60以上の代理店ネットワークのおかげで、都心から離島までご要望があればどこへでもサービスを提供できます。

【第三者による評価】

Johnson Health Tech (JHT) は、“Achiever”の認証を受けています。MSAP (Marriott Sustainability Assessment Program マリriottサステナビリティ評価プログラム) による「環境への配慮」「製造方法」「社会的な責任」に関するサステナブルスコアをクリアしています。



※マインドクリックの評価基準による。
The Mind Click Group (mindclick.com).
この評価はあくまでもベースラインであり、わたしたちはすべての項目でより良いスコアを出せるように毎年、努力を続けています。

われわれのパートナー

JHTでは、世界中の従業員へのサポートを行い、各地域のコミュニティ形成にも貢献しています。

【働くひとたちを守る】

JHTで働く従業員のウェルビーイングを保证するため、グローバルポリシーのもとで以下を監視しています。

- ・全ての工場での年少労働者、差別、強制労働の禁止
- ・結社の自由等

また、子供の労働に関する法律や規制も遵守しています。わたしたちは上記を実行するため、人身売買や子供からの搾取を含むいかなる強制労働も排除しています。

【アクティブな生活をサポート】

北米ヘッドオフィス (JHTNA)では、従業員は世界規模のフィットネス施設を利用し、ポイントをためることができます。

グループファンクショナルトレーニングやヨガ、ズンバ、ランニング、サイクリング、ランチタイムバスケットボール、アイススケート、クロススキー、スノーシューイングなど、季節ごとのスポーツシーンで利用できます。

【教育】

JHT創設者ピーター・ローの名を冠したスカラーシッププログラムは、企業の慈善事業として、JHTの従業員の扶養家族に毎年10,000ドルのスカラーシップの機会を提供しています。

【思いやりの日】

毎年開催される「思いやりの日」には、就業中に積極的に自分たちのスキルを活かして価値ある行動をとっています。

【就業中のボランティア】

JHTイギリスでは、従業員は、就業時間内に毎年2日間、ボランティアタイムが与えられています。チャリティーや非営利団体をサポートし、コミュニティをより良い方向へ導くことをめざしています。

【コミュニティ支援】

JHTイギリスでは、地域のホスピスチャリティー「ダグラスマックミラン」のオフィス支援、「サマリタンクリスマスボックス」に資金援助を行ったり、イベントに参加したりしてギフトが必要な子どもたちのサポートを行っています。

また、不要なポリスチレンごみを再利用しておもちゃを作り、「アルトンタワーズ」「ブラックプールプレジャービーチ」「ウインターワンダーランド」のようなイベントにも寄付しています。

【ヘルスケア&ウェルビーイング】

JHTイギリスでは、快適で生産性の高い労働環境実現のために、従業員が健康的なアクティビティをするための資金援助を行っています。例えば、ヘルスクラブ会員、パーソナルトレーニングの費用、ダンスのクラス、スポーツクラブ、マーシャルアーツなどが対象となります。また、自宅でのワークアウトも推奨しており、フィットネス機器の貸出なども行っています。

【メンタルヘルスを守るために】

JHTオーストラリアでは、身体を鍛えることに加えて、不安症やうつ病、自殺から個人、家族、コミュニティの命を守る非営利の専門機関 "Beyond Blue" によるサポートを受けています。

【健康的な職場】

JHTベネルクスでは、従業員は毎週2時間、リアルなジムで運動することが推奨されています。

ブラジルでは、従業員が身体を動かせるよう、週に2回のフィットネスクラスを提供しています。

ヴェトナムでは、毎日午後に30〜45分程度、お昼休憩賭場別にエクササイズのための休憩時間が用意されています。

このような取り組みによって、従業員は健康を維持し、仕事で燃え尽きることなく生産性を保つことができます。

【より健康にスマートに】

JHTでは、四半期毎に健診を行っており、従業員は定期的に身体の状態をチェックできます。

JHTベネルクスでは、従業員はさまざまなフィットネスジムのオンライン&リアルなレッスンを受けることができます。

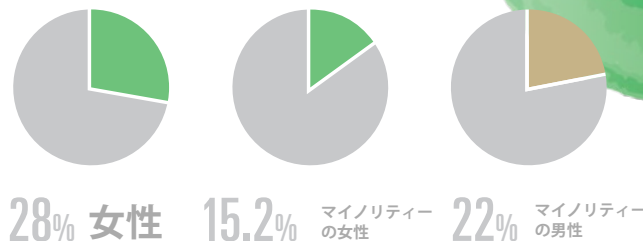
北米では、Treo Wellnessの総合的なヘルス&ウェルネスコーチングを提供しています。

【多様性ゴールの追跡】

JHTベネルクスでは、“Dear Lucy” というソフトを利用して、リアルタイムで組織の多様性に関する情報をモニタリングしています。

ダイバーシティーへの配慮

雇用機会均等に肯定的な雇用主のもと、北米オフィスの働き手は、女性が28%、マイノリティーの女性が14.2%、マイノリティーの男性が21%を占めています。オーストラリアでは、従業員の男女比が60%男性／40%女性です。女性の比率は毎年上がっており、バランス良く多様性のある職場を目指しています。



また、“Dear Lucy” に社員の写真を提供して多様性に関する組織情報（どのエリアで多様性を改善しなければならないか）などを特定しています。

【スポーツへの支援】

JHTベネルクスでは、ドイツやヨーロッパの多くの組織と共に小学校のフィジカル（肉体的な）フィットネスチャレンジをサポートし、こどもたちのアクティブなライフスタイルづくりに貢献しています。

また、職場の若者たちの支援のため、ラグビーを活用した8週間プログラムにも参加しています。

【コーヒーによる支援】

JHTベネルクスでは、オフィスで Holy Beans Coffee を提供し、収益は犯罪歴のある若い男女をサポートするために利用し、社会貢献を行っています。

【健康で幸せになれるヘッドオフィス】

JHTフランスでの新しい本社オフィスでは、ヘルシーな食事を提供するカフェテリアを併設、従業員がリフレッシュできるように室内屋外のリラックススペースも用意しています。また、新しいショールームでは、スポーツ大会を開催することも可能です。

【健康のために立って仕事をするオフィス】

一日中座るという不健康な時間を減らすため、JHTカナダでは50%の社員が油圧のスタンディングデスクを利用しています。座りっぱなしの生活から生まれる痛みを軽減し、快適に過ごすため、クッションマットも合わせて利用しています。

